

津山市下水道事業検討審議会②  
令和4年5月31日（火）

# 全体計画の見直しについて

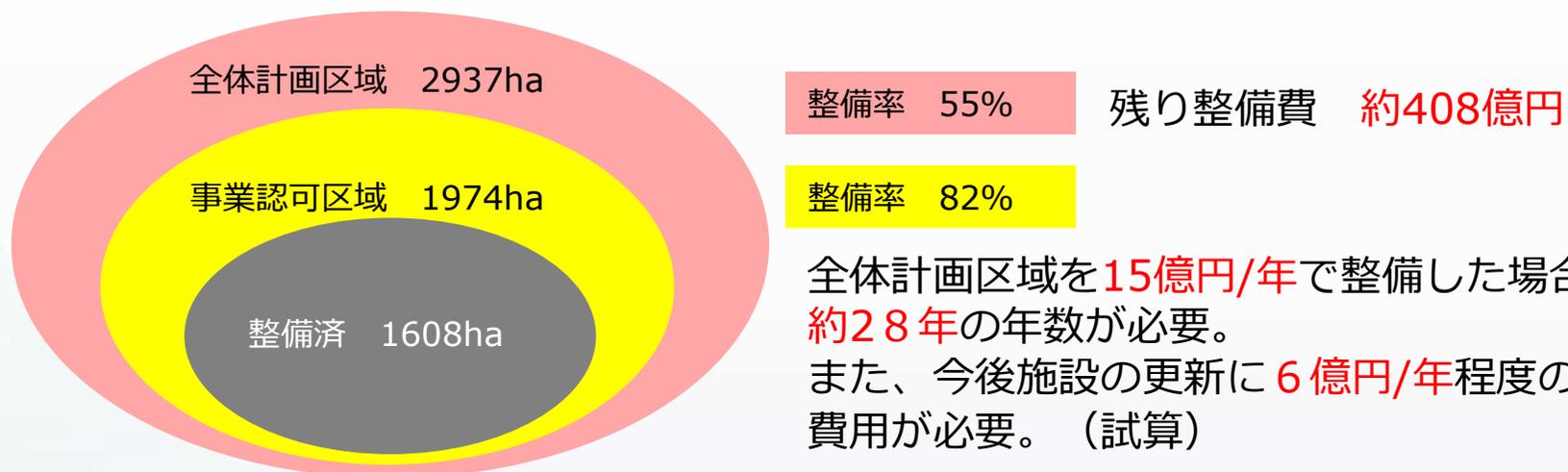
津山市

# 1-1. 全体計画見直しの背景

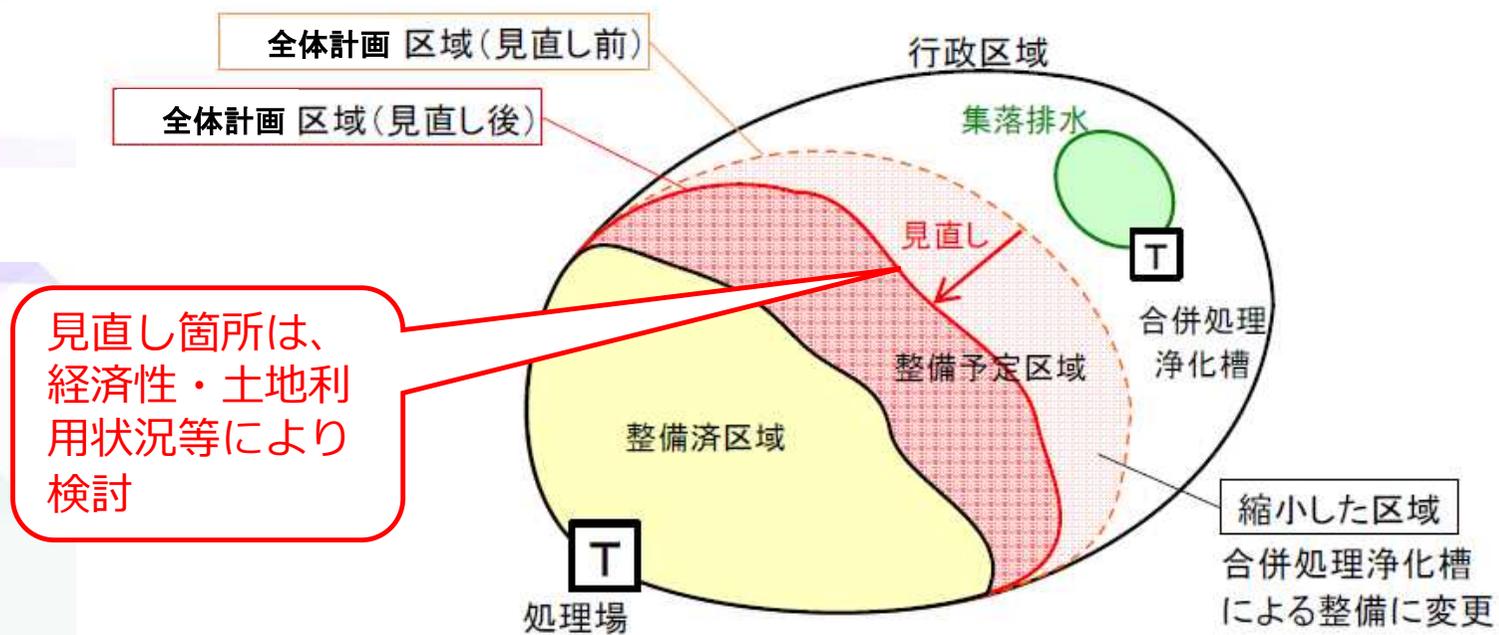
## <課題>

- ① 全体計画区域内の整備率は約50%であり、整備完了には約30年程度の期間が必要。
- ② 供用開始後30年が経過し、各施設を計画的に維持管理・改築更新していく必要がある。
- ③ 下水道事業の財政状況は厳しさを増しており、人口減少や水需要の減少等により、今後の下水道使用料収入の伸びはあまり期待できない状況。

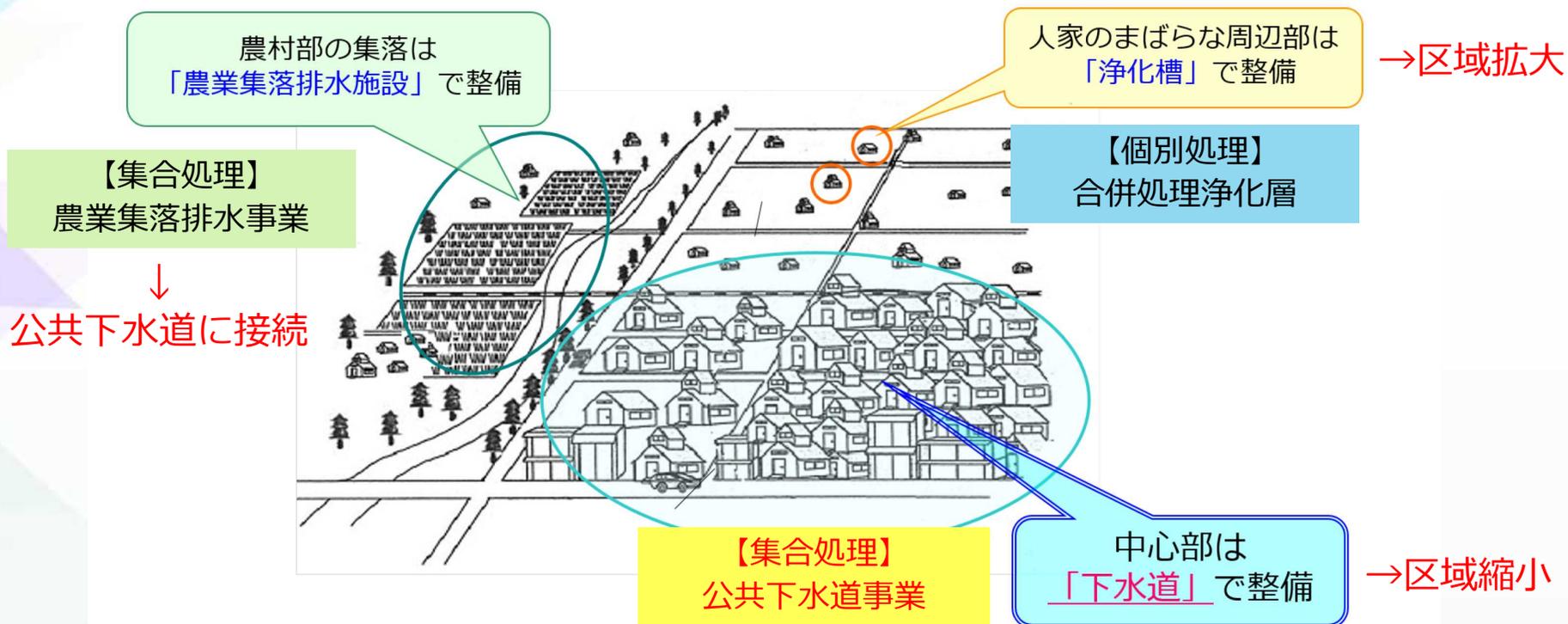
【津山全域（旧津山、久米、勝北、加茂）】



# 1-2. 全体計画見直しのイメージ

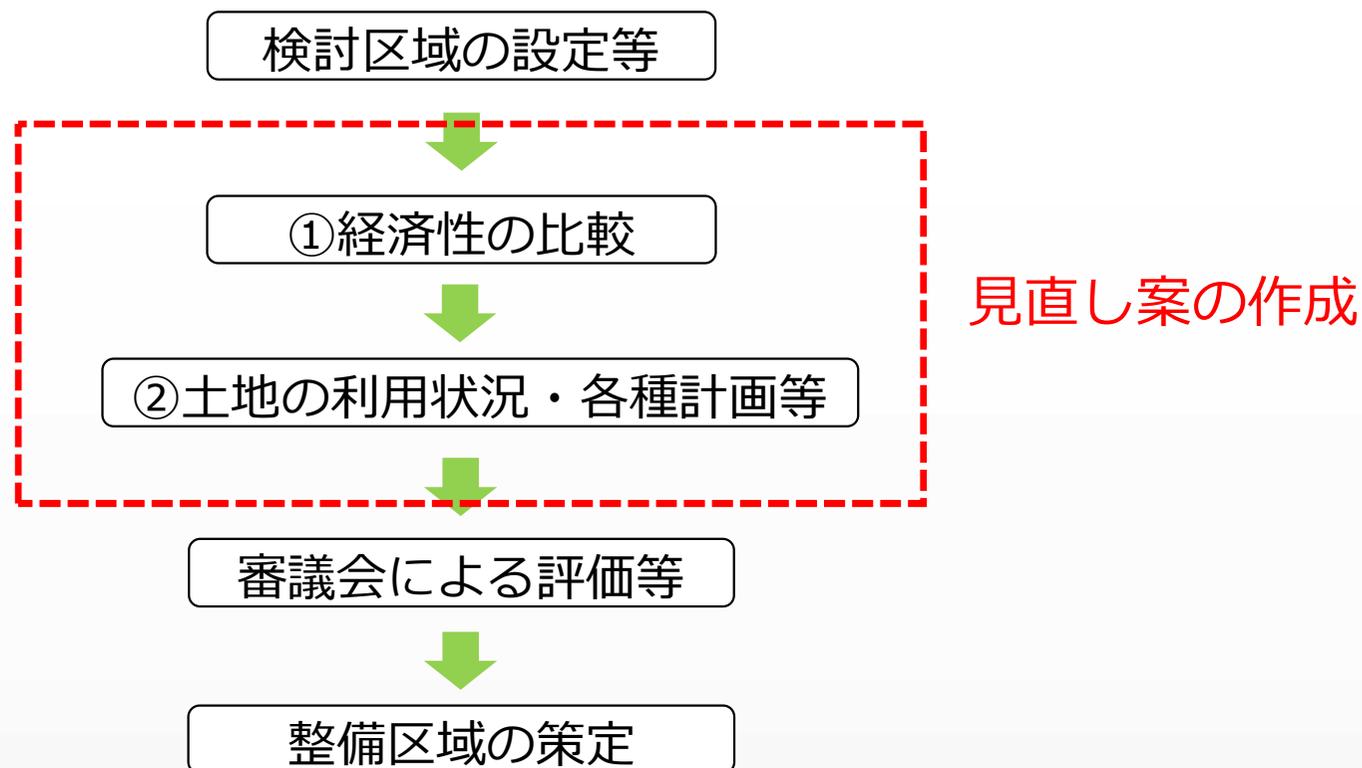


# 1-3. 整備手法の見直し方針



汚水処理施設の種類の概念図

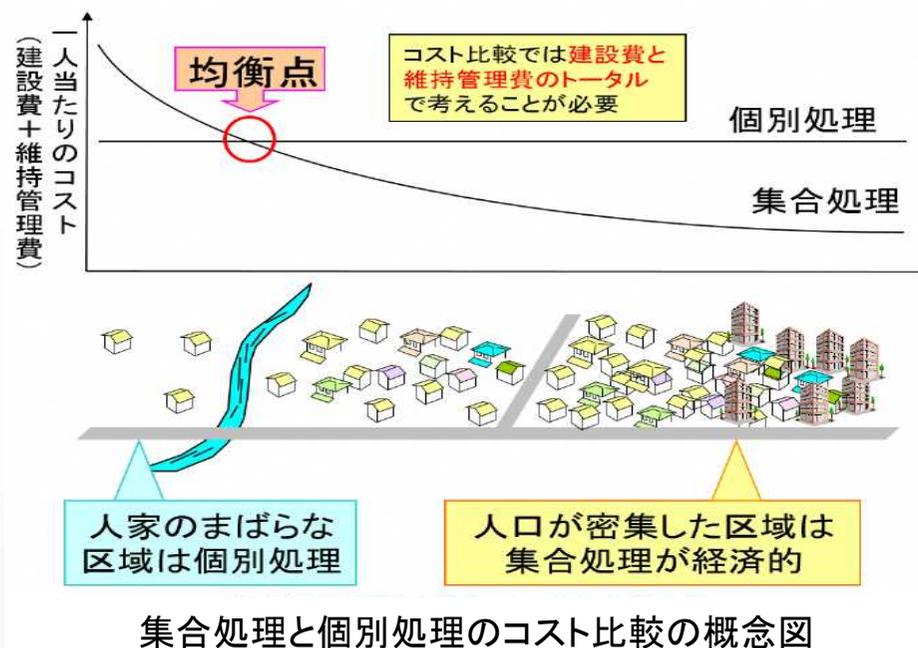
## 2-1. 全体計画見直しの検討フロー



## 2-2. 検討項目①

### ・ 経済性の比較

建設コスト等の経済性を基にして、集合処理が有利か、個別処理が有利かを比較し、最適な集合処理区域を検討する。



## 2-3. 検討項目②

### ・ 土地の利用状況・各種計画

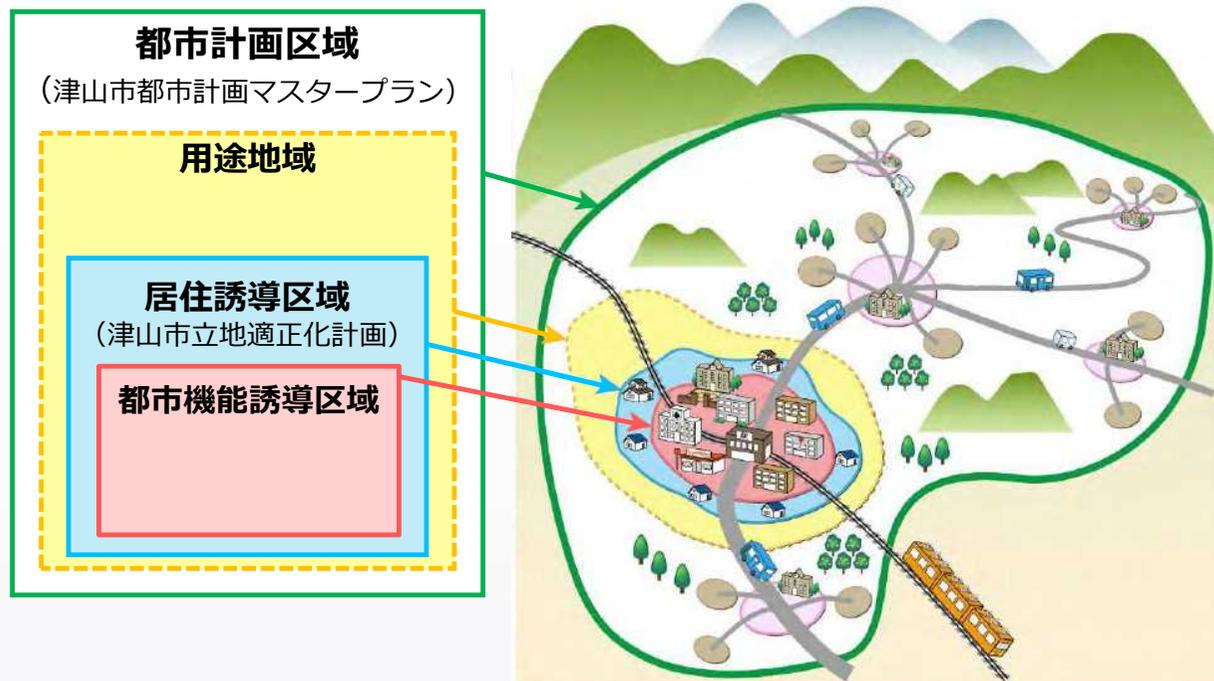
公共下水道は都市計画に定める都市施設の一部であり、各種計画区域を全体計画見直しの検討項目とする。

#### ◆ 用途地域

用途の混在を防ぐことを目的とし、住居・商業・工業など市街地の大枠としての土地利用を定めたもの。

#### ◆ 居住誘導区域

人口減少の中にあっても**一定エリアにおいて人口密度を維持**することにより、生活サービスやコミュニティが持続的に確保されるよう、居住を誘導すべき区域。居住を誘導するための施策として、下水道や雨水対策施設などの整備を定めている。



## 2-4. 整備目標

【津山全域（旧津山、久米、勝北、加茂）】



### ① 短期（～令和7年度末）

- ・事業認可区域の整備

### ② 中長期（令和8年度～令和17年度）

- ・全体計画見直しにより、**10年程度**で公共下水道の概成を目指す。

# 3-1. 全体計画見直しの流れ

